第 105 号
2010年10月1日
発行　社会福祉法人 大阪福祉事業財団
高槻四施設・ふれあい編集委員会
大阪府高槻市塚原1丁目9番1号
高槻温心寮　槻ノ木荘
ひむろこだま保育園　三島の郷

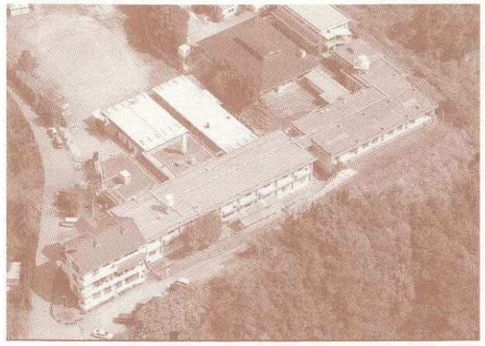
ふれあい

福祉相談

◎保育・子育て
ひむろこだま保育園（695）1516
◎おとしより
槻ノ木荘（694）0716
◎障害者・生活保護
高槻温心寮（696）5922
◎障害者
三島の郷（688）0768
お気軽にご相談ください
月～金（10時～16時）

その人らしい暮らしの場づくりを

開設30周年を迎えた三島の郷



当事者・家族のねがいをもとに誕生

三島の郷は、主に知的障害があり、年齢も障害の程度も生活歴も異なるおとなの人びと（18歳以上）の暮らしの場です。

「障害があっても安心して暮らせる場を北摂の地に」という、当事者家族の皆さんの長年の運動と、私たち法人が力をあわせ、高槻・原地域に定員50名で1979年に開設、30年が経ちました。その後、2度の増築・増員を経て今は95名（日中の活動は100名）の方々が利用されています。

本人が望む生活めざして

家庭から、児童の施設から、病院からなど、利用のきっかけはさまざまですが、平均年齢は47歳になり、親の平均年齢も70歳をこえました。一方で、在宅ですごしている障害のある人びとのさまざまな要望にこたえようとショートステイ事業（定員8名）、ケアホーム（5か所23名）、相談支援事業、居宅介護（ホームヘルプ・ガイドヘルプ）事業、通所事業（20名）も生まれました。

障害がある人々も「豊かな生活や当たり前の暮らしができるように」と考え、スタートした暮らしのありようは、今では「本人が望む生活を」が大きなテーマになっています。

実際の生活は試行錯誤の連続ですが、できるだけ利用する人たちの意向や要望にそって暮らしづくりを進めてきました。

仕事は山間部という立地条件を生かし、創作的な活動として自然を相手に農・園芸作業、草木染やそれを利用しての結び織り、さおり織り・組紐、陶芸などをしています。

（3面下に、つづく）

知的障害者の生活施設三島の郷（みしまのさと）は、昨年開設30周年を迎えました。今年1年間、30周年事業と位置づけ様々な取り組みを展開しています。

雨のち晴

再び生活保護に係ることになり、いくつかの「生活困窮や保護」をめぐる研修会に参加して、日本の貧困化がこれほどまでにすすんでいたことに愕然としました。見えていたのに見ていなかったというべきでしょうか。厳しい雇用情勢で、職場から締め出される障害者、希望しても就労できない若者、度重なる失業で就労意欲も失い社会から孤立してゆく人々の増加に、支援する行政や制度が追いつかない現実です。社会的に排除されている人々に、再び居場所をつくり、「生きること」への力をつけることに、保護施設の機能、設備や環境が役立つことを願って、どんな人も受け止めることのできる支援力を持ちたいと思いました。

（丸野ちづる）

こぼれ話

酷暑の夏～読書の秋

田中　功二
（ひむろこだま保育園）

今年は記録的な猛暑日が続き、秋は本当に来るのかしら？と心配になるほどでしたが、9月も半ばを過ぎるとようやく秋の気配が感じられるようになりましたね。

みなさんは「秋」というと、何をイメージされるでしょう？「食欲の秋」、「スポーツの秋」、「芸術の秋」、そして「読書の秋」…などがありますね。

ここで、今年の夏の暑さの中でもヒンヤリ涼しくなれた一冊をご紹介。

角川書店より発行されている、ホラー文庫の数かずです。「ホラー」と一口に言っても、心霊現象や妖怪の類（たぐい）まで、たくさんあります。時にはごく普通の人間関係のなかにもホラーの要素が隠れていることも…。

読書の秋、ちょっとした刺激が欲しい方におススメですよ。

Q&A

新型インフルエンザ

Q 昨年大流行のインフルエンザが今年も流行しないか心配です。予防・対策を教えて下さい。

A 新型インフルエンザは、昨年8月中旬に本格的流行となり11月にピークを迎え、今年3月には鎮静化しました。いまのところ流行の兆しは見られませんが、うがいや手洗い、マスク着用、人混みを避けるなどの予防が効果的です。

症状としては突然の発熱や咳、のどの痛み、体のだるさ、鼻みず、鼻づまりや頭痛などです。

予防接種が望まれますが、保健所、医療機関、かかりつけ医などにお問合わせ下さい。

ご存知ですか？

無料電話番号案内

障がいがあって、電話帳の利用が困難な人の場合、以下の条件で、NTTの番号案内を無料で利用することができます。

この制度は「NTT無料電話番号案内ふれあい」といって、①療育手帳所持者、②精神障害者保健福祉手帳所持者、③身体障害者手帳所持者のうち、視覚障害で1～6級、肢体不自由で1・2級の方※が対象です。（※上肢・体幹・乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害の方）

手続きは、フリーダイヤル0120・104・714へ電話をし、申込の書類を請求、書類に必要事項を記入、手帳の写しを添えて返送します。認められると通知書が届きます。

告知板

ひむろこだま保育園
●園庭開放
10月19日（火）
29日（金）
11月16日（火）
26日（金）
いずれも9時半～正午
●青空保育
10月27日（火）
10時～11時
フレンドマート横
氷室第一公園

お詫び
前104号の3ページ「ワンショット」の記事冒頭に記事と関係のない1行が誤って印刷されました。読者並びに関係者の皆さんにご迷惑をおかけしました。お詫びいたします。

編集後記

今年は例年になく9月になっても30度を越える暑さが続きました。10月に入りようやく秋の気候になりましたね。さて秋と言えば食欲の秋・芸術の秋・読書の秋と様々な楽しみを満喫する季節です。10月17日には「ふれあいひろば」が開催されます。お祭りの秋を盛り上げる為に皆様ぜひ遊びに来て下さい。

（得本）

第31回 ふれあいひろば

まもろう平和とくらし、つくろう住民本位のまちを

10月17日（日）
10：00～15：00
上の池公園（雨天決行）

秋の一日、みんなで楽しみましょう

なかまとふれあい

お年寄り、障がい者、子どもをめぐって目を覆いたくなるような悲惨なできごと、耳を疑うようなニュースがあとを絶ちません。長びく不況、若者から中高年まで広く及んでいる雇用不安、増税の動き等暮らしの先行きは不安だらけです。

こうした中、地域の住民、中でも障がい者や子ども、お年寄りが安心して暮らせるまちづくりをめざし、今年も「ふれあいひろば」を開催します。お誘い合わせのうえご参加下さい。

いきいきコーナー
世代を超えてみんなが豊かに暮らせるまちづくりをめざして。バリアフリーノーマライゼーションを考えます。住宅リフォームの相談もお受けします。

親と子のコーナー
手作りおもちゃで、自分だけのオリジナルおもちゃを作ってみては。近大相撲部のみなさんとの「相撲大会」今年も催します。

趣味のコーナー
地元ボランティアの協力を得て手作り作品づくり、趣味を拡げる情報コーナー。
日本棋院普及指導員谷河先生指導の囲碁将棋・オセロコーナーも。

障がい者コーナー
市内の障がい者施設の日ごろの活動、成果を発表。
自主製品の展示販売や実演、車イス体験試乗も予定しています。

食文化のコーナー
毎年好評の「手打ちうどんづくり」、今年も出店します。一緒にうどんづくりに挑戦しましょう。農民組合による地元特産米、野菜の販売もあります。

平和のコーナー
原爆パネルをはじめ、戦争と平和を考える展示。今年5月にニューヨークで開かれた核拡散防止条約（NPT）検討会議についての報告。核兵器廃絶や平和を考えるビデオ上映など。

ミニ動物園
毎年、大人気のミニ動物園!!ポニーやアヒル、小動物たちとのふれあいを楽しんでください。

もぎ店コーナー
焼きそば、ジュースなど食べ物から、手作り作品やバザーまで、施設や団体が趣向を凝らしたお店を出店します。

参加協力券の普及にご協力を

「ふれあいひろば」の運営をささえる資金として、参加協力券（1枚200円、福引券付）の普及にご協力をお願いします。自治会、各施設で取り組んでおります。

福引景品のご紹介

特等　有馬温泉一泊ペアご招待…1本
1等　パン焼き器…5本
2等　デジタルフォトフレーム…8本
3等　地元産新米5kg…20本
4等　QUOカード（商品券）…30本
5等　障がい者の手作り製品…400本
6等　ファンシーグッズ

参加協力券（半券）と引き換えますので、半券は大切に保管してください。

（1面から、つづく）

開設30周年を迎えた三島の郷

長期的展望にたちよりよい暮らしの場へ

また敷地外の福祉ショップにでかけたり、施設内の洗濯・清掃などといった生活管理的なことも仕事として位置づけ給料が支給されています。生活の場では食事や入浴はできるだけ家庭生活に近い時間とし日曜はのんびりと過ごします。

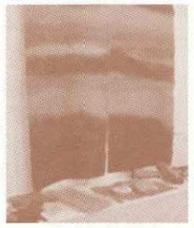
一方、全国で1700カ所を超える郷のような成人の生活の場では、大勢の人が4人部屋で過ごしていたり、細かな日課の設定をせざるをえなかったり、利用者の安全面を優先するあまり管理的になったり、暮らしの場としてはふさわしくないなどの悩みを抱えています。

この間、これらの現状に加え閉鎖的で第三者の目が入りにくいなどマイナス面が強調され、こういった生活の場や暮らし方が否定される傾向にあります。本当にそうでしょうか。

よりよい生活の場をめざして努力つづける

利用する人たちが主人公となる支援や個性ある暮らしのあり方、それにそった建物環境の整備、またそれらを実践できる職員の力量向上や法律で定められた職員の働く最低限度の条件が守られるようにすることなど、本人が望むその人らしい暮らしの場を提供するためにも今すぐに改善すべきテーマは山ほどあります。

開設後30年が経過し、改めて今利用する人たちや家族の皆さんが求めている暮らしの在り方とその先にある長期的なスタンスからの提起とをしっかり結び付けた対応が大事です。（梶田）


利用者の作品

第10回 ぬくもりふれあい福祉展

私たち同じ法人の4施設が日頃の取り組みの成果を地域のみなさまに知っていただくために、毎年開催しています。
お気軽にお立ち寄りください。

★日時 11月20日（土）～21日（日）
（両日とも10：00～17：00）
★場所　ジャスコシティ高槻
1階スタジアムコート
★内容　各施設利用者の作品の展示と販売（編み物、陶芸作品、染物、和紙製品、子ども絵画、その他）手作りのパウンドケーキ販売
★お問い合わせ先
槻ノ木荘　多久和まで
(TEL　072-694-0716)
または、各施設までおたずね下さい。
＊入場は無料です＊

ワンショット

民謡クラブ
槻ノ木荘

槻ノ木荘民謡クラブでは月2回先生方が来荘して練習を行っています。歌うことで老化防止ストレス解消にもなり、何より皆さん唄う事が大好きで楽しんでおられ、ふれあいひろばや市民会館での発表会が励みになっています。